

博士論文の審査結果の要旨

専攻	医学	分野	社会医学研究
学籍番号	18M3011	院生氏名	品川なぎさ
通学キャンパス	成田		
論文題目	医学部留学生を対象とした日本語教育研究		
審査結果(枠で囲む)	合格		不合格
<p><審査結果の要旨></p> <p>1. 主論文について</p> <p>1) 研究の概要</p> <p>本論文の目的は、医学部留学生を対象とした日本語教育実践をもとに、医学部留学生の専門日本語教育の在り方について考察することである。まず、医学部1・2年次の日本語教育期間において、何をどのように教育すれば効率的に留学生の学修言語能力(CALP)を向上させるかを考察するため、医学部と連携した日本語コースの開発と実践を報告した。次に、効果的に留学生のコミュニケーション力を向上させ、医療の現場を円滑に患者とのコミュニケーションがなされるようになるのかを考察するため、留学生の医療面接時のコミュニケーションの特徴および日本語の問題点を明らかにした。</p> <p>2) 研究方法・論証・論文形式</p> <p>本論文の調査・研究は国際医療福祉大学倫理審査委員会の承認(18-Im-02-3)を受けて行った。調査・研究の対象者は本学医学部留学生であり、研究協力者は本学医学部日本人学生および模擬患者役の本学教職員である。対象者には研究内容を説明し、同意書を取得後、施行されており、倫理手続きは適切に行われた。</p> <p>3) 知見の新規性と価値</p> <p>本研究は、医学部留学生の日本語教育において、低学年では医学用語の習得と定着のための運用練習の有効性が確認され、高学年ではコミュニケーション力向上のためのトレーニングの必要性が示唆され、医学部留学生の日本語教育に貢献する研究として高く評価できる。</p> <p>2. 審査経過</p> <p>審査会において記述が不明確な点等についての指摘があり、加筆修正を依頼した。再提出された論文を審査員全員で確認し、適切に加筆修正されていることを確認した。</p> <p>3. 口頭試問の結果</p> <p>3名の審査員の質問に、明確に回答した。</p> <p>4. 審査の合否</p> <p>以上の結果から、審査会の審査員全員は本論文が著者に博士(医学)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	主査	池田 俊也	教授
	副査	西村 渉	教授
	副査	村井 弘之	教授